

事業番号	10 03 09	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県産材供給体制整備事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	信州の木活用課県産材利用推進	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進			E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出			実施期間	S60 ~	
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 エ 林業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	森林づくり指針に基づき、「集中型」、「連携型」、「地産地消型」の体制確保に資する木材の生産・加工・流通施設の整備を支援し、品質・規格の明確な県産材製品の利用促進を通じた競争力のある木材産業の育成と健全な森林の育成を推進する。 本事業による県産材製材品出荷量16,887m3 (H27見込み)を17,597m3 (H28)とする。															
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 木材需要が減退し、木材価格が低迷している。 県外に設置が進む大規模工場への対抗、製材会社間の連携等により県内の木材産業の体質強化が必要である。 林業再生の両輪となる森林整備と県産材利用は県が積極的に関与し推進する必要がある。 経済状況に左右されない、安定的な県産材供給と県産材製品生産体制を構築していく必要がある。 															
県が関与する理由	県でなければ実施不可 (法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 合板・製材生産性強化対策事業交付金交付要綱 (国)、森林整備加速化・林業再生事業費補助金実施要綱 (国)、県産材供給体制整備事業補助金交付要綱 (県)														
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)															
	本事業による県産材製材品増加量: 16,887m3 (H27未見込) → 17,597m3 (H28) + 710m3とする。 (整備事業の実績値をH27見込とし、事業毎の3年若しくは5年目の目標値を目標年数で除したものを単年度目標値として設定)															
	② 事業内容 (単位:千円)															
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)								
	県産材供給体制整備	補助金	帯鋸盤、製品保管庫・貯木場等の整備 補助率1/2 当初4箇所、補正2箇所		36,565	22,258	43,500									
			合計		36,565	22,258	43,500									
事業コスト	区分 (単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越	156,100		31,077	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標				
		当初予算	35,420	36,565	43,500				目標	成果	達成状況					
		補正予算	-2,145	16,770					県産材製材品出荷量 (累積)	6,390m3	16,887m3		17,597m3	集計中 (10月)	集計中 (10月)	205m3 (単年)
		合計 (A)	189,375	53,335	74,577											
	Aの財源	一般財源														
		県債														
		国庫支出金			18,300											
		その他	189,375	53,335	56,277											
	ト	決算額 (B)	174,309	22,258												
概算人件費	職員数 (人)	0.3	0.3	0.30												
	概算人件費 (C)	2,483	2,374	2,374												
	概算事業費 (B(A)+C)	176,792	24,632	76,951												
目標に対する成果の状況	集計中															

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成29年度においても加速化基金事業が利用可能となったことから、加速化基金を活用して事業を実施する。 「あたりまえに」木のある暮らしを実現するためには、品質の確かな県産材製品を安定的に生産供給する体制づくりを構築する必要があるため、県産材の生産から加工・流通に至る施設整備を行うことで、県産材の産地形成を図り、県産材の利用を促進し、健全な森林の育成を図る。
--------------------	--